



MANAZURU

議会だよりまなづる

No. **43**

2014年(平成26年)
5月1日発行



私の好きな場所

「荒井城址公園」

撮影者:中島 博さん
城址公園の竹林は静けさの中に落ち着いた雰囲気を感じており
心の拠りどころとして一枚の写真に収めてみました

C 目次 ontents

3月定例会報告
 新年度予算に白熱した議論!!
2-10P
 審議結果10-11P
 議長の部屋11P
 一般質問12-15P
 トピック16P

告知

議会報告会 開催のお知らせ
 日時 6月24日(火) 午後6時30分より
 会場 真鶴町民センター3階 講義室
 報告内容は3月定例会で審議された条例や予算などです

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
 電話0465-68-1131(内線360)
 info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
 編集/議会だより編集委員会

ご意見ご感想をお寄せください

3月定例会

3月4日～14日 定例会開催

3月定例会は、平成25年度補正予算、平成26年度予算、条例制定、改正などの審議、町長による施政方針報告が行われた。

小田原市箱根町真鶴 町湯河原町障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更について

根拠法の改正に伴い審査会名称を変更した。

全員賛成

真鶴町長期継続契約を締結することができ契約を定める条例の制定について

施設の保守管理等、4月1日に業務を開始する必要があり、同日が土曜日、日曜日であると契約日が4月2日以降となり支障が生じることから、合理化・効率化を図ることを目的に条

例を制定した。

賛成多数

光吉 「契約の期間は5年以内、ただし町長が必要と認めるときはこの限りではない」とあるが、良質なサービス、自由で公正な競争入札を阻んではないか？

総務課長 一般的に5年以上は考えられない。

真鶴地域情報センター 条例の一部を改正する条例の制定について

消費税率の引き上げに対し、適正な消費税の転嫁と利用者の利便性向上のため使用料金・体系を改正した。

賛成多数

黒岩 消費税増税分を転嫁するのはいかがか？

企画調整課長 公共施設使用料は消費税の課税対象であり、条例で定める消費税率分の額を改正する必要はある。町が負担する余裕はない。

村田 営利目的、非営利

目的の基準は？

企画調整課長 営利事業を営む団体は営利目的、住民主体で営業を目的としないもの、利益を上げ

ることを目的とし、寄付目的などを非営利目的とみなしている。詳細は規則を改定し、明確にしておく。

高橋 町有の施設使用料金に内税・外税が混在して分かりにくい。消費税を内税方式とする理由は？

企画調整課長 次回改正までに過去の経緯を確認する。

真鶴町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

厳しい財政状況に鑑み、26年度に限り、職員給与を平均2%引き下げた。

賛成多数

村田 やみくもに町職員の給与減額はいかなものか？削減効果は？

総務課長 歳入予算の財源不足額を賄うため、削減効果は2069万5千円。

黒岩 給与水準は県下最低であり、今以上のカットは職員の生活権を脅かす問題だ。

総務課長 26年度、県下8市4町で削減を実施予定であり真鶴だけの問題ではない。

町長 住民サービスを考えると、身を削るしかない。1年間限定で実施することを理解いただきたい。

光吉 より一層の事業見直しで対応すべきでは？

町長 県からの交付金増を目指したが、大雪の影響もありダメだった。事業見直しは継続して行っていく。

真鶴町議会の議員その他非常勤の職員公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

根拠法の施行に伴い所要の改正を行った。

全員賛成

真鶴町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳カードの交付手数料を改正した。

全員賛成

岩ふれあい館条例の一部を改正する条例の制定について

消費税率の引き上げに対し、適正な消費税の転嫁と他の学校施設の使用料との均衡を図るため改正した。

賛成多数

板垣 施設や設備の新しさ、古さは、使用料設定に考慮されているか？

教育課長 考慮しており、古くなった備品の購入も検討していく。

真鶴町立体育館条例の一部を改正する条例の制定について

所有する器具の増加に伴い、使用料を改正した。

全員賛成

真鶴町敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について

財政状況や近隣市町の支給状況を考慮し、敬老祝金を減額した。

賛成多数

村田 高齢化率と支給対象者は何名か？

健康福祉課長 65歳以上は35.4%、70歳以上は26.2%。支給対象者は、77歳101名、88歳37名、99歳5名、100歳3名。

真鶴町国民健康保険診療所の診療報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

消費税率の引き上げに対し、適正な消費税の転嫁を行うため改正した。

賛成多数

農業委員会の選挙に関する条例の一部を改正する条例の制定について

農業委員会の選挙による委員の定数を10人から

新年度予算に

質疑応答

3月定例会

白熱した議論!!

6人に減らした。

全員賛成

**真鶴町公共下水道使
用料条例の一部を改
正する条例の制定について**

消費税率の引き上げに
対し、適正な消費税の転
嫁を行うため改正した。

賛成多数

**真鶴町水道事業給水
条例の一部を改正す
る条例の制定について**

消費税率の引き上げに
対し、適正な消費税の転
嫁を行うため改正した。

賛成多数

**真鶴町非常勤消防団
員に係る退職報償金
の支給に関する条例の一
部を改正する条例の制定
について**

根拠法の施行に伴い、
退職報償金を増額したも
ので、全国統一の基準改
正である。

全員賛成

村田 増額に伴い、掛金

も増加すると思われるが、
国の補助はないのか？

総務課長 掛金は一般財
源であり、補助はない。

**真鶴町消防団員等公
務災害補償条例の一
部を改正する条例の制定
について**

根拠法の施行に伴い所
要の改正をしたもので、
条例改正がなされていな
かったため、平成23年10月
1日に遡って適用される。

全員賛成

岩本 遡及該当者は？
総務課長 いなかった。

**真鶴町国民健康保険
高額医療費貸付基金
条例を廃止する条例の制
定について**

高額医療費貸付基金の
利用状況を勘案し、基金
財産の有効活用を図るた
め廃止した。

賛成多数

村田 昭和61年以降で、
34名が利用されており、
利用率は低くない。貸付

が返済されなかったケー
スはあるか？

町民生活課長 高額療養
費が支給された時点で相
殺するので未返済はない。

**真鶴町立コミュニテ
イ真鶴条例を廃止す
る条例の制定について**

黒岩 必ず返済されるの
であれば、基金の金額を
減らした上で、制度は存
続させるべきではない
か？

町民生活課長 限度額適
用認定証の制度を利用す
れば、医療機関窓口での
支払が自己限度額までで
済み、かえって一時的な
負担額が少なくなる。

村田 普通財産化されれ
ば、議会の承認なく、取
り壊しが可能となる。旧
保健センターのように中
核となる団体があれば運
営も上手くいくが、その
ような団体はあるのか？

教育課長 社会教育施設の
ままでは有効活用が難し
い。町民から営利目的で
の利用を求められても断
らざるを得ず、より可能
性のある使い方を検討す
るのが目的だ。この建物
は美の基準のシンボルで
あり、活用方法を考える

光吉 今後、同様の見直
しが発生した場合、町民
の意見を聞く公聴会を開
くか？

町長 今回のケースにつ
いては、今まで利用され
ていた方の意見を聞きた
めにも協議会を設ける。
町を二分するような問題
であれば、住民投票を行
うことになる。

二見 (仮称)産業活性
化センターの耐震診断結
果は？
産業観光課長 店舗部分
は、木造であり、耐震補

に混乱を生じさせている。
普通財産化した後の用途
が明確になってから廃止
すべきでは？

教育課長 定期的に利用
されている10団体の内、
7団体は町民センターへ
の移行を了承いただき、
3団体についても調整を
進めている。

総務課長 普通財産化以
降の貸付方法を検討して
おり、なるべく早く決め
たい。

上で大切にしてい。運
営協議会を設置、町民に
参加いただいで具体的な
活用方法を検討し、議会
にも示していく。

光吉 収支が赤字となる
ことが見越せなかったの
か？

教育課長 社会教育施設
の性格上、黒字運営は不
可能だ。

光吉 普通財産化した後
の収支改善に向けた手立
ては？

総務課長 社会教育施設
利用料はその性格から低
く抑えられてきた。貸付
方法、運営方法を検討し
ている。

板垣 臨時福祉給付金支
給が円滑に進むよう、ど
のように取り組むか？

健康福祉課長 給付自体
は来年度事業であり、支
給が円滑に進むようリス
ト整備などの準備を行っ
ている。

二見 (仮称)産業活性
化センターの耐震診断結
果は？
産業観光課長 店舗部分
は、木造であり、耐震補

は美の基準のシンボルで
あり、活用方法を考える

光吉 今後、同様の見直
しが発生した場合、町民
の意見を聞く公聴会を開
くか？

町長 今回のケースにつ
いては、今まで利用され
ていた方の意見を聞きた
めにも協議会を設ける。
町を二分するような問題
であれば、住民投票を行
うことになる。

3月定例会

強より将来的に建て替えた方が財政的には良いとの結果である。加工棟は、耐震補強工事の必要はないが、平屋部分は古い建物であり、クラック等の改修は必要である。

二見 海抜表示板の設置状況は？

総務課長 海抜10メートル地点の18カ所に、路面表示と海抜表示ポストをセットで設置した。

岩本 広域避難場所への案内表示を設置する予定は？

総務課長 地の利のない観光客向けにも検討する。

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)について

歳入歳出に3031万4千円を追加し、総額を13億1201万4千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第4号)について

歳入歳出から1637万8千円を減額し、総額を1億8951万1千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第4号)について

歳入歳出から1637万8千円を減額し、総額を1億8951万1千円とした。

全員賛成

歳入歳出総額に変更はなく、歳出予算の款項区分変更を行った。

平成25年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について

歳入歳出から4209万6千円を減額し、総額を1億3104万8千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)について

歳入歳出から272万4千円を減額し、総額を7億1757万1千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)について

歳入歳出から217万4千円を減額し、総額を1億526万4千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第2号)について

水道事業収益から1005万9千円を減額し、総額を2億4153万5千円、水道事業費用から519万3千円を減額し、総額を2億2860万3千円、資本的収入から209万5千円を減額し、総額を790万5千円、資本的支出から169万9千円を減額し、総額を8393万5千円とした。

全員賛成

平成26年度真鶴町一般会計予算について

【歳入】 インターネット公売の売り上げは？

千円、水道事業費用から519万3千円を減額し、総額を2億2860万3千円、資本的収入から209万5千円を減額し、総額を790万5千円、資本的支出から169万9千円を減額し、総額を8393万5千円とした。

平成26年度真鶴町一般会計予算について

【歳入】 インターネット公売の売り上げは？

税務収納課長 これまで3回実施。126点の内92点に入札があり、落札金額は20万円弱。

村田 疾病予防対策事業補助金減の理由は？

健康福祉課長 がん検診以外の補助金がなくなつた。

高橋 町の施設使用料等について、施設間の収支バランスはとれているか？公平性はどうか？

町民に現状を開示すべきでは？

町長 施設間の収支バランスが

取れ、事業仕分けでも一番の問題となつた。真鶴町は他と比べ最も高かった。ただ、急激には上げられないので町で補助しつつ改善していきたい。

町民へは広報等での周知を検討する中で、スポーツや教育振興が減退しないよう留意していく。

教育長 教育関係の施設間バランスが取れていない。文化教育の普及推進という目的を基本としながらも、住民サービスと受益者負担のバランスを新しい視点で考えていく。

高橋 (仮称)産業活性化センターの収入見通しは？

産業観光課長 条例制定にあたり、運営協議会を設け、魚座、ケープ真鶴の二の舞にならないよう修繕費用も含めて利用料の設定を行う。

板垣 再生可能エネルギーについては？

教育課長 県100%補助事業で、災害時広域避難所である真鶴小学校体育館にソーラーパネルと

蓄電設備を導入、照明をLEDに交換していく。夏季休暇中に工事を予定。黒岩 (仮称)産業活性化センターの施設使用料、設備使用料の内容は？

産業観光課長 施設使用料は、売店部分使用料や加工施設部分を干物体験施設として使用する場合は、設備使用料は、の使用料。設備使用料は、朝市開催時のテント使用料や釣具レンタル料。町が直接物品販売等を行うのではなく、民間に施設や物品を貸し出す事業。

岩本 畜犬登録手数料減の理由は？むしろ頭数が増えているのでは？

町民生活課長 これまでの登録実績から算出した。これまでは販売店での指導のみだった。今後、登録啓発を行っていく。

岩本 妊婦健康診査補助がなくなった理由は？

健康福祉課長 25年度限りの補助金である。

二見 パークゴルフ場、美術館の利用料と利用者見込みは？

産業観光課長 パークゴルフ場は25年度1500

円、水道事業収益から1005万9千円を減額し、総額を2億4153万5千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第2号)について

水道事業収益から1005万9千円を減額し、総額を2億4153万5千円とした。

全員賛成

平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第4号)について

質疑応答

3月定例会

0人、400万円超の見込み、26年度はさらに増え450万円と見込む。

教育課長 美術館利用者数は24年度とほぼ同数で推移しているので、24年度実績と同じ16477名で計上。

二見 来館者を増やすために、横山大観等の展示はできないのか？

教育長 美術館運営審議会の理解を得られるよう努力する。また、中川美術館としての良さをより示せるよう努力していく。

【歳出】

村田 産業医報酬が増加した理由は？

総務課長 25年度は月1万円。町の規模では月5〜6万円だが、財政状況を理解いただき月2万5千円でお願した。

村田 小田原高等医師会高等看護学校に町が負担する理由は？

健康福祉課長 現小田原医師会館、同看護学校老朽化のため、「おだわら総合医療福祉会館」（総建築費19億円、うち看護学校分12億円、医師会・

県・一市三町の負担）が建設された。地域の看護師育成が急務であり、地域医療振興のためにも協力することになり、1000万円を4年間に分けて負担していく。

村田 他に同様の学校は？

健康福祉課長 国際医療福祉大学や医療機関内にもあるが、医師会に建設費補助として負担するもの。また、小田原には行政面でも協力してもらっている。

村田 動物フェスティバルとは？

町民生活課長 畜犬登録事業のひとつで、小田原アリーナで10月開催を予定している。

高橋 施政方針報告の「知恵を絞り、創意工夫をこらし、前例に縛られない歳出見直しを」の具体例と事業仕訳との関連は？

町長 国・県・民間からの補助を受け事業を行ってそれまでだったが、これからは、売上、集客数、実活性化につながって

いるのかなど、具体的に検証を行ったうえで、次の事業への投資を行う。

企画調整課長 水産振興事業の（仮称）産業活性化センター整備事業、岩漁港整備事業が象徴的な事業だ。（仮称）産業活性化センターに880万、

田中 健康相談事業とは？

健康福祉課長 子供の発育など、各種健診の際に相談事業を行っている。

光吉 複写機はリースより購入のほうが有利では？紙の資料が多いが無駄などないか？

総務課長 町の事務機器は財政面を考慮し全般的にリースという方針。内部用にはミスコピーの裏面を使う、極力両面印刷などを心掛けている。

が主で、講師費用が掛からないものを中心に参加している。

青木繁 消防費の訓練手当に操法大会向け訓練手当は含まれているか？

板垣 中学校に設置のAEDは近隣住民も使用可能か？

教育課長 検討する。現状は、中学生のみの使用を前提に二年生に救命救急の講習をしている。

黒岩 （仮称）産業活性化センターで、想定外の支出がでたらどうするか？町債2320万円円の返済期間は？

産業観光課長 想定外の支出は予備費で対応。町債は5年据置15年償還、年償還額約140万円。

財政面等の心配はないか？手持ちの資産を有効活用する選択肢はないのか？

産業観光課長 以前は魚市場で行ったこともあるが、保健所の許可が困難。

村田 消防委託事務費増の理由は？

総務課長 デジタル無線整備、救助業務にかかる人件費、はしご車起債償還などが増加。

二見 （仮称）産業活性化センター改修費の内訳は？

産業観光課長 耐震工事、外装、内装工事に加え、デコレーション的なものを含めて行う。

対象外の地下道内等については今後整備を検討。

二見 中学生国際交流の人数は減らしたのか？

教育課長 25年度より10名から5名に減った。

高橋 路線バス補助路線の利用状況と今後の見通しは？

まちづくり課長 岩路線を運航する伊豆箱根バス（株）への補助で、26年度で4年目となる。赤字撤退申出に対し、高齢者の足を確保するため、利用状況にあわせ負担割合を決めている。コミュニティバス、路線バス、学童送迎バス、運航ルートも含め協議会設置準備をしている。

まちづくり課長 1412本で全体の90%以上。解決で、今後の運営改善策・解決案も定まってい

【反対討論】

村田 多額の借金をして（仮称）産業活性化センターの用地建物を購入することが、職員給与の引き下げにつながっている。大幅歳入不足の原因説明、赤字経営の魚座・ケーブ真鶴への繰入金問題も未解決で、今後の運営改善策・解決案も定まってい

3月定例会

質疑応答

ない。補助金カット、公
共施設料金値上げ等によ
り住民サービスの低下が
起きている。多額の借金
が未来の子供たちにつけ
をまわすことになる。今あ
るモノを利用するべきで、
魚座・ケープ真鶴特別会
計も赤字の中、更なる借
金を重ねることは財政悪
化に拍車をかける行為だ。

【賛成討論】

青木繁 (仮称) 産業活
性化センター事業のみを
取り出し、反対すべきで
はない。町長の政策も窮
状を救うべく明確に方向
性を打ち出しており、評
価できる予算である。

手 平成26年度真鶴町国
民健康保険事業特別
会計(事業勘定) 予算に
ついて

賛成多数

村田 葬祭費減の理由は？
町民生活課長 各年度で
バラつきがあるので当初
予算では20件を見込み、
増減は修正予算で対応。

岩本 健康診査等委託料
は町民健康診査か？

町民生活課長 国保加入

者対象の検診で、25年度約
660名が受診している。

手 平成26年度真鶴町国
民健康保険事業特別
会計(施設勘定) 予算に
ついて

賛成多数

手 平成26年度真鶴町下
水道事業特別会計予
算について

賛成多数

二見 真鶴町初となるマ
ンホールポンプはどこに
設置するのか？住民への
説明は？

まちづくり課長 つるや
書店付近に設置、音や振
動等はほとんど漏れない。
住民説明は26年度に入っ
て早急にする。

手 平成26年度真鶴町真
鶴魚座・ケープ真鶴
特別会計予算について

賛成多数

黒岩 魚座とケープ真鶴
を今後どのようにしてい
くのか？

産業観光課長 本予算は、
魚座・ケープ真鶴を現状
のまま経費を削減して継

続していくもの。

高橋 観光客数は震災前
の人数に戻っている。利
用者数の見直しは？

産業観光課長 25年度観
光客数は、減少傾向にあ
る。利用者減の原因は、
リニューアル未実施、メ
ニューのマンネリ化、新
メニュー開発もできてい
ない。外食産業全体の落
ち込みもある。

手 平成26年度真鶴町介
護保険事業特別会計
予算について

賛成多数

村田 不正不当利得によ
る返納金の実例は？

健康福祉課長 24年度に
病院施設の破産において
あった。

手 平成26年度真鶴町後
期高齢者医療特別会
計予算について

賛成多数

手 平成26年度真鶴町水
道事業会計予算につ
いて

黒岩 受水費の内訳は？

まちづくり課長 湯河原
町からの受水費用は一日
1900トン、1m単価
は81円で、これに消費税
を加味したもの。

高橋 水道使用量が減っ
ているにも関わらず、使
用料が増える根拠は？

まちづくり課長 消費税
増税分と新規利用世帯見
込分。

手 真鶴町立診療所問題
に関する百条委員会
の設置を求める陳情書に
ついて

賛成少数

【不採択反対討論】

黒岩 町民の税金の使い
道の問題。

医師の給与が当初の日
額12万円から12月には日
額8万円に減額されたが、
その間の差額の行方に疑
惑があり、明確にすべきだ。

【不採択賛成討論】

二見 百条委員会設置の
理由として派遣資格のな
い医院が医師派遣を行っ
たことなど5点をあげて
いるが、それらは、町行
政に属さない事項や議會
の役割でない事項であり、

賛成多数

質金直接支払いの原則に
違反し小田原労働基準監
督署より受けた行政処分
に対しては既に是正を
行っている。

委員会報告

総務民生常任委員会

一般会計 税務収納課

板垣 公売システムによ
るオークションの実績
は？

課長 4回参加しており、
3回目までの落札額合計
は19万6336円。

高橋 町民税の税収見込
みが減となっているが？

課長 景気は回復傾向に
はあるが、所得の伸びは
ないとして積算した。

青木蔵 固定資産土地評
価時点修正業務委託料と
は？

課長 固定資産の評価替
えに向けて土地の動向を
監視する事業で、路線価
や新たな土地の開発等に
係る資料の作成等である。

青木蔵 町の今後の土地

百条委員会設置が必要と
考えるのであれば、議員
として議案の発案権を行
使すべきである。

活用は？
課長 新たな試みとして、
地籍調査を行い、例えば
畦地への課税等で税収増
につなげるなど、住民に
負担とならないようにい
ろいろやってみよう。

課長 4回参加しており、
3回目までの落札額合計
は19万6336円。

高橋 町民税の税収見込
みが減となっているが？

課長 景気は回復傾向に
はあるが、所得の伸びは
ないとして積算した。

青木蔵 固定資産土地評
価時点修正業務委託料と
は？

課長 固定資産の評価替
えに向けて土地の動向を
監視する事業で、路線価
や新たな土地の開発等に
係る資料の作成等である。

青木蔵 町の今後の土地

委員会報告

委員会報告

は？
課長 課税は登記に基づき行うもので、所有者が亡くなっていれば相続人を調査し課税する。

一般会計 総務課

高橋 公有財産維持管理経費の光熱水費増の要因は？

課長 コミュニティ真鶴の普通財産化に加え、旧保健センターの分も増えている。

高橋 町有施設貸付料に一定の基準はあるのか？

課長 旧岩小及び旧保健センターについては料金設定の基準はない。

高橋 基準がないのにどのように決定したのか？

課長 相手方との協議により、ランニングコストを超える額とした。

高橋 今後の見直しを含め退職手当等の財源は？

課長 財源は一般財源で、市町村退職手当組合に負担金を払い、そこから支払いを受けている。組合で今後の見直しを行い、

毎年負担額改定を行って

いる。

板垣 防災備蓄事業費減の要因は？

課長 25年度は、24年度計上分が東日本大震災により執行できず、2年度分を執行したため。

二見 消防施設管理事業の修繕料は？

課長 消防分署の外階段の修理。

岩本 防災担当職員に専門的知識をもった職員の配置を行っているか？

課長 町レベルでの専門職員の配置は財政的にも難しい。

岩本 南足柄市では抜き打ちで招集訓練をした。

職員の招集にはどれくらいかかるのか？

課長 招集までは行っていないが、電話連絡網伝達訓練を抜き打ちで実施したところ、10分程度で

最後まで回った。

海野 消防団運営費補助金の内訳は？

課長 団の運営費として本部に23万円、分団に13万円。補助金なので明細はある。

一般会計 町民生活課

板垣 衛生組合派遣職員人件費増の理由は？

課長 26年度、町から1名派遣する。

一般会計 企画調整課

黒岩 臨時財政対策債の運用状況は？

課長 交付税の不足分を起債し一般財源に充てるもので、限度額いっぱいまで起債している。起債額を減らせば交付税算定額も減り、一般財源の歳入不足となる。

黒岩 臨時財政対策債は限度額いっぱいまで起債するしかないのか？

課長 他の財源があれば減らすことも可能だが、補う財源がない。町が進めている事業の財源として必要最低限の起債で、必要以上に起こしているものではない。

板垣 情報センターの管理体制は？

課長 平日は夜まで職員が対応。土・日・祝祭日は臨時職員が対応。

高橋 情報センター施設利用料減の理由は？

課長 理由が明確でないが、来館者数が減っている。維持管理の財源となるので原因を究明し、改善できるものは改善する。

黒岩 情報センターでのパソコン教室は再開しないのか？

課長 対応していた臨時職員がいなくなったことなどからここ2年間はやっていない。今後、補助金がつけば再開は可能。

黒岩 情報センター1階は旅行者が立ち寄るには良いスペース。もっと活用を。

課長 起債償還が終了したので、活用方法を検討する。

一般会計 健康福祉課

二見 障害の「害」の字はひらがな表記にすべき。

課長 法律等で定まっているもの以外はひらがな表記として配慮している。

二見 ひとりぐらし高齢者等緊急通報システムの利用件数は？

課長 現在、80歳以上のひとり暮らしが17名で、予算は20名分を計上。

二見 小田原医師会高等看護学校の建物に、本小松石が使用されるのか？

課長 建設に際し、地域のものを使用したとの意向に沿ったもの。

板垣 放課後児童クラブ保護者負担金増の理由は？

課長 利用希望者数増。板垣 疾病予防対策事業費等補助金減の理由は？

課長 補助対象が限られたため。

高橋 臨時福祉給付金事務費補助金対象者数は？

課長 1万円の方が1800人、年金受給者加算分が13000人の見込み。

高橋 一次救急医療対策事業委託金倍増の理由は？

課長 休日急患について、診療所が指定管理になった際に診療所の経費から一般会計に移したため。

青木 駿 インフルエンザ予防接種費用助成金の説明を。

課長 小学生と中学生の

接種の回数が違うので、26年度は接種1回についての助成とした。

海野 新生児子育て支援給付金は、真鶴町では一人目、二人目、三人目共に1万円。湯河原町では三人目は100万円だ。

課長 町の政策的なものになるが、町の財政状況では厳しい。

海野 いきなり100万円ではなくても、二人目、三人目をアップさせることは？

課長 検討する。

国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 町民生活課

高橋 保険税見直しは？

課長 12年度から見直しをしていない。20年度から24年度は単年度収支で赤字となっており、平均11%増としたい。

高橋 一般被保険者国民健康保険税、同介護納付金分、同後期高齢者支援金分毎の増税率は？

課長 試算では、一般被

保険者国民健康保険税は

25年度とほぼ同じだが、介護納付金分は約2倍、後期高齢者支援金分は33%上げないと歳出に追いつかない。

黒岩 いつから上がるのか？
課長 保険税の本算定が7月からなので、6月に条例改正をしたい。

黒岩 条例を改正しないで上げるのは問題ではないか？
課長 税額は25年中の所得に応じて決まるもので、現在によつては変動する。現在の財政では一般会計から繰出しもできず、歳出に見合った税額としないと、運営ができなくなる。

国民健康保険事業特別会計(施設勘定)

町民生活課

高橋 指定管理にかかると管理運営交付金は、26年度は3000万円ではなかったか？
課長 5年総額1億1000万円を毎年均等額に変更した。

は、指定管理者からのリクエストによるものか？
課長 リース物品は町が契約して支払いをするのが、最終的には協会が使用料として負担する。
黒岩 診療所での健康診断は？
課長 診療所で100人以上を受けると、通常診療に影響が出る。個別検診は診療所、集団検診は今迄どおりとする。

介護保険事業特別会計

健康福祉課

青木 介護保険事業計画策定事業のスケジュールは？
課長 26年5、6月にアンケートを行い、10月までに集計をし、3月議会に保険料額を算定したものを上程したい。単年度での事業となる。

青木 介護認定審査会運営事業とは？
課長 介護度を審査するもので年25回開催予定。
青木 神奈川県町村情報システム共同事業組合負担金は、第6期計画に

向けてシステムを替えるものか？
課長 25年度は一般会計で一括で計上していたものを各会計に分けた。

黒岩 要介護3以上でないの特養老人ホームには入れないのか？
課長 基本は3以上が入所基準だが、それぞれの施設、家庭の状況により入れる。

高橋 介護認定審査会委員報酬は、非常勤特別職と比べると高いが？
課長 医師2万8000円、その他1万9000円で、医師会で金額が設定されている。通常の診療が終わってから開催されることを考慮している。

経済文教常任委員会

一般会計

まちづくり課

村田 路線バス運行補助金について、オンデマンドタクシー等の検討は？
課長 路線バス・コミュニティバス・学童送迎バス等を含め、合理化の検討をバス・タクシー会社

へ声掛けしたが、タクシー会社から通勤通学時のコミュニティタクシーの提案があった。26年度に地域交通調査を実施して、新たな公共交通のあり方を検討し、その結果をもつて新しい交通形態を考えていく。

光吉 道路維持補修事業は外注か？
課長 26年度の道路改修事業は4カ所分、指名競争入札形式で行う事業である。

光吉 4カ所以外の小さな工事で、公平性の観点から工事の優先順位を示す基準はあるのか？公開できるのか？
課長 以前に路面性状調査を実施しており、路面のひび割れや老朽度合等の調査によりいつごろ補修するかなどの順序を決めている。

町民からの補修要望は修繕費を計上し、職員が工事の対応をしている。

町民からの補修要望は修繕費を計上し、職員が工事の対応をしている。

は、今後有料化するのか？無料か？
課長 運営協議会で検討していただく。施設管理は今後総務課が担当部門になる。

光吉 管理上、人件費が発生することにならないか？
課長 運営協議会の検討結果を踏まえて、管理団体、組織等で賄うことが想定される。

村田 運営協議会の私物的性格にならないか、公共のものをかえって使いづらくならないか懸念されるが？
課長 私物化されない組織を検討段階から注視していく。

村田 管理を任せると建物の維持管理の負担をかけることになるが、管理の弱体化が予想されないか？
課長 施設運営は、現在の使用団体等は共通の目的を持った方たちが利用している。活動の場を確保するために、施設を利用する方たちには施設管理も一つの方向として考

えていただく。村田 博物館観覧料の予算減は、観光客倍増計画の観点からいえば増額で予算すべきではないか？
課長 あくまでも実績見込みから推計している。

村田 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業は昨年と同様の予算計上だが、26年度はどのような内容の事業を計画しているか？
課長 2年間の補助事業。本年度は、25年度の事業を踏まえた実績の発表、研究成果の発表をするなどの事業である。

村田 不登校相談事業の成果は？
課長 専門相談員が家庭を訪問している。相談件数は年々減少傾向で、成果が上がっていると認識している。

村田 貝類博物館運営事業で大幅な減の理由は？
課長 海の学校委託事業のうち、NPOへ委託していた事業が国の補助金削減によりなくなった。代って社会教育活性化支援プログラム事業という

代って社会教育活性化支援プログラム事業という

一般会計

教育課

光吉 コミュニティ真鶴

委員会報告

委員会報告

新規事業が始まり、引き続きNPOへ委託し海を学び、海を親しむ事業として継続される。

村田 中川一政美術館について、中川画伯以外の絵を展示できないという事だが、美術館運営審議会でのような協議がなされているのか？

課長 覚書が交わされており、中川画伯と、画伯ゆかりの関係者以外の展示をしないことになっている。なお、美術館運営審議会で検討していく。

海野 貴船まつりに文化財保護予算が計上されているが、岩のまつりには予算がつかないのか？

課長 貴船まつりは国の重要無形文化財になっており、保護目的で予算を計上している。

村田 (仮称) 産業活性化センターについて、年間運営費はいくらか？

課長 運営費は高熱水費のみを見込み、人件費は考えていない。

村田 観光協会補助金の増は(仮称)産業活性化センター管理運営を見込んでのものか？

課長 経理の見直しで人的支援を求められたが応じられなかったので、補助金により人員の増をするものである。

村田 運営目標値は？損益分岐点は見込んでいますか？

課長 最低限度の運営計画はある。運営方法は、利用者等を含めた協議会で考え、事業の中身を検討していきたい。

面はある。運営方法は、利用者等を含めた協議会で考え、事業の中身を検討していきたい。

村田 事業がスタートする前に目標を定めるべきではないか？

課長 計画がしっかりしていなければ事業の継続性を判断できないが？

課長 貸店舗形態なので施設使用料収入で見込んでいます。

村田 年間収支計画440万円で収支バランスは取れるのか？

課長 赤字を出さないラインで見込んでいます。

村田 活性化センター営業に際し、地元商店街等と話し合ったか？

課長 事業を行うための下話はしてある。

村田 地域住民への説明会を行う予定は？

課長 観光協会・宿浜商店街・水産加工組合の一部関係者に下話をしている。参加したいという話も出ている。

田中 (仮称) 産業活性化センターの土日朝市では、徹底したPRを行う

て人寄せを行い、町外からの出店者も可としているが、具体策は？

課長 宣伝費50万円、PR誌のほかホームページの充実も図る。

青木繁 (仮称) 産業活性化センターに観光協会を移転する予定か？

課長 移転可能性の打診はしている。少なくとも、受付窓口業務程度は担当してもらいたい。

光吉 (仮称) 産業活性化センターの企画は町長発案か？

課長 宿浜通り商店街の空き店舗対策としての活性化事業で、国県からの補助事業予算のからみもあり、(仮称)産業活性化センターとした。12月1日営業開始を目指しており、事業参加予定者を募集しつつ関係者協議会を作って準備していく。

光吉 チャレンジショップ等の参加申し込みは来ているか？

課長 予算が決まっていない段階で募集はできない。

光吉 仮に、賃料収入が

なくても続けていく予定か？

課長 魚座店舗に比べて広さや冷房設備等もあり条件は良い。空きスペースとならないよう努力する。

光吉 常設マーケットは土日のみか？

課長 貸店舗棟は月極め、ランドブースは土日の朝市用である。

海野 パークゴルフ場について、利用料増加予算となっているが、湯河原パークゴルフ場が開業したら利用者が減るのではないか？

課長 利用者は、特定の場所だけでなく他市町の施設を交互利用している。相乗効果で利用者増を見込んだ。

青木繁 観光事業印刷製本費で印刷するパンフレットは、町独自のものか、使途別を考えて作っているものか？

課長 町全体の観光施設を案内するパンフレットを作っている。

海野 引込み率が低いのは費用が多額で予算が立てにくい面があると思うか？

村田 住民感情としては「そんなの知らなかった」と言われかねないが？

課長 整備箇所を順番に広げていく形で広報していきたいと考える。

なくとも続けていく予定か？

青木繁 公共下水道管渠築造工事は26年度で完了予定か？場所は？

課長 管渠築造工事は、26年度に2カ所、小学校体育館トレーニングセンター前から階段を下る道路と、県道、真鶴橋下から真角前交差点まで。別にマンホールポンプカ所、つるや書店前を予定している。

村田 住民への説明会は予算計上されないのか？

課長 町民アンケートの結果、真鶴港方面に向かうことを決定している。で、住民説明は済んでいると認識している。

村田 住民感情としては「そんなの知らなかった」と言われかねないが？

課長 整備箇所を順番に広げていく形で広報していきたいと考える。

海野 引込み率が低いのは費用が多額で予算が立てにくい面があると思うか？

村田 住民感情としては「そんなの知らなかった」と言われかねないが？

課長 整備箇所を順番に広げていく形で広報していきたいと考える。

海野 引込み率が低いのは費用が多額で予算が立てにくい面があると思うか？

下水道事業特別会計 まちづくり課

下水道事業特別会計
まちづくり課

委員会報告

課長 標準の工事金額を打診した経緯はあるが、工事個所によりさまざまケースがあり、目安程度のものはある。

海野 町は目安を示しながら勧奨すべきでは？

課長 目安を見直し、継続勧奨に役立てられるようにしていく。

田中 公債費比率について、比率が高くなると自治体として維持することの危険度が増すといわれているが、どのように考えているか？

課長 供用開始間もない自治体は、使用料金収入が少ない中でも供用区域を広げる必要があり、面整備に係る工事費負担を起債に依存する状況だ。徐々に拡大し、使用料収入が増加すれば起債残高も減少するものと理解願いたい。

真鶴魚座・
クーポン真鶴特別会計
産業観光課

光吉 赤字体質のまま事業を次年度以降も続ける

つもりか？

課長 26年度は現況を引き続いでるの予算計上している。

村田 イベント開催や営業時間の延長などの工夫を考えないのか？

課長 最低限度の予算計上である。

光吉 移設や変更等を考えているのか？

課長 今後の方針については移設や変更を視野に入れて運営していく。方向が決まった段階で対処する。

青木繁 広告宣伝費を計上していないが？

課長 運営していくための最低限度の予算計上なので、現時点での広告宣伝は計上していない。

水道事業会計
まちづくり課

質疑なし

※3月定例会の質疑応答は一部を掲載しています。

平成26年 3月定例会 審議結果 会期(3月4日~14日)

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木繁	村田知章	青木 巖	二見和幸
議案第1号	小田原市箱根町真鶴町湯河原町障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	真鶴町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第5号	真鶴地域情報センター条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	真鶴町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	10	8	2	可	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第7号	真鶴町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	真鶴町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	岩ふれあい館条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	真鶴町立体育館条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	真鶴町敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	真鶴町国民健康保険診療所の診療報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	真鶴町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	真鶴町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	真鶴町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	真鶴町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	真鶴町国民健康保険高額医療費貸付基金条例を廃止する条例の制定について	10	8	2	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第19号	真鶴町立コミュニティ真鶴条例を廃止する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第20号	平成25年度真鶴町一般会計補正予算(第6号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

課長は裁決に加わりません

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋 敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木 繁	村田知章	青木 巖	二見和幸
議案第22号	平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第4号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成25年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成25年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成25年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成25年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成25年度真鶴町水道事業会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成26年度真鶴町一般会計予算について	10	7	3	可	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○
議案第29号	平成26年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成26年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成26年度真鶴町下水道事業特別会計予算について	10	8	2	可	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第32号	平成26年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計予算について	10	8	2	可	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第33号	平成26年度真鶴町介護保険事業特別会計予算について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	平成26年度真鶴町後期高齢者医療特別会計予算について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	平成26年度真鶴町水道事業会計予算について	10	9	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	真鶴町立診療所問題に関する百条委員会の設置を求める陳情書について	10	2	8	不	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×

議長は裁決に加わりません

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥
 議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

今回43号から「議長の部屋」を加えてもらいました。

ことわざ「礼にあらざれば視るなかれ、礼にあらざれば聴くなかれ、礼にあらざれば言うなかれ」議会のま

3月定例会では、身の丈にあった予算を

組むこと、収入が減り厳しい財政を立て直すための新年度予算について、質疑を進め新人議員4人を含む8人が一般質問に登壇しました。新人議員が加わったことにより、議員の改選前にも増して質疑が活発になりました。

平成26年度一般会計予算については、3名の反対があり、反対討論、賛成討論のあと賛成多数で可決されました。

論点が明確になったのが、常任委員会に付託審議された旧梅原水産跡地に計画する(仮称)真鶴産業活性化センター設置について、

各委員から質疑が集中しました。

常任委員会委員から年間収支計画、運営計画、利用者見込み等について担当課に答弁を求めました。



青木 巖

率的な町政が行われているか、また町の振興・発展・安全・安心な町づくりのために力を尽くしています。

忘れたころに「大災害」今から対策を

最近、地震や津波、集中豪雨、豪雪などの自然災害が増加しています。

また、職員給与の削減に対し、議会としてどうすべきか6月定例会をめどに議会運営委員会でも検討します。

就任6カ月を過ぎて議長として公平、効



光吉 孝浩 議員

「観光収入倍増計画の進捗状況について」

A 厳しい財政状況を理由に景気倍増計画実現の歩みを止めることは許されず、初年度は補助金獲得や企業連携により資金を調達し、「着手可能な事業の実施」を断行した。

分散していたイベントを統合し、真鶴町の価値を発信する豊漁豊作祭として結集し、春・夏・秋の三部作からなるイベントを創り上げた。
三部作の出店売上総額は約470万円であり、「旧商工まつり」と「魚まつり」を統合し、秋に開催された真鶴龍宮祭では2日間で約350万円を売り上げた。
旧来の2つのイベントの売上は併せて約200万円から270万円であ

り、一定の効果を示している。

中長期目標は、2年目はその芽を大きくするプロモーションを実施し、3年目を収穫の年と位置付けたい。

「半島駅伝、及びスポーツツーリズムについて」

A 伝統ある半島駅伝は、競技性の高い大会で、特に高校生、中学生が陸上競技を通して今後の活躍を願う大会。

駅伝とは別に、半島健康マラソンが毎年2月に開催されており、年齢、体調に合わせて1周から3周まで最長で5・4kmのマラソンがある。この事業で観光客を対象とした市民ランナーの参加を検討し商工会、観光協会と連携を図っていく。

平成26年度、岩海岸でオープンウォータースイミング大会を後援する。5月の豊漁豊作祭・岩龍宮祭に合わせ、参加者数は300〜500名を想定している。

Q イベントの統合で成果を上げている倍増計画やスポーツツーリズムの実施など、ソフト面で観光客の呼び込みができるのに、(仮称)産業活性化センターのような建物をつくる意味は?

A スポーツツーリズムは一泊二日の事業。(仮称)産業活性化センターは、車から観光客をおろすという考え方で、お客様を定着させるために朝市で魚を売っていきたい。魚を開くことを体験し、教育的な意味も持つ。

「町長の公用車について」

A 移動範囲や走行距離を確保した上で、移動時間の効率的な利用等を考えて車種等の選定がされている。

町長車を町の宣伝媒体としての利用については、安全性、警備上にも配慮する必要があるのと考えてはいない。

一般質問

一般質問



高橋 敦 議員

「真鶴駅前再開発に向けた取り組みについて」

Q 真鶴道路無料化以降、通行量が約2倍に増加し、真鶴駅前の渋滞が発生している。

交差点内の路面表示変更や右折滞留スペース確保・拡大等で一定の成果をあげているが、未だ形状は複雑で事故の危険性は高い。渋滞緩和、危険度減少への検討状況は?

A 県や町の道路担当課で抜本的な渋滞解消に向け、検討会を立ち上げ現地測量作業を行っており、今後、交差点等の詳細設計を行い、右折レーンの確保、交差点のコンパクト化、信号サイクルのロスを少なくする形状を検討する。

また、渋滞緩和策の一つとして、湯河原方面から半島方面への新たな

ルート検討も湯河原町と行っていく。

Q 135号線駅前交差点を通る小型車両の内、町内への走行車両は9・3%と少ない。

観光車両の5%を半島方面へ誘導できれば、観光客数は年間約17万人と現在の約15%増となる。観光車両誘導への取り組み、計画は?

A ブルーライン料金所付近、駅前ロータリー付近への観光客向誘導看板の設置、商工会館壁面看板の見直しを検討中。

Q 観光客の多くは、駅135号線から半島や港方面へ向かう。観光案内や土産物、飲食等のサービスを提供し、これまで駅前を通過するだけだった観光客を町に誘導することが観光活性化に重要だ。

高知県の「田野駅屋」は道の駅の成功例で、真鶴駅前と似た立地条件で、昨年の年間集客数は約21万人、年間売上高は約2

億4千万円だ。徒歩や電車での利用者を考えれば、駅前にも同程度の集客可能性はある。

観光客に車から降り、真鶴に触れ、味わい、再び来ていただくためには、半島や港周辺だけでなく、駅周辺を再整備し、観光客向けに休憩、観光案内、飲食施設等を設置することは、産業活性化にとつて重要な事業である。

厳しい財政事情の中で、投下資本を最低限に抑えるため、豊漁豊作祭のように、町や実施母体となる団体が出店者に場所を提供し、そこにテナント等の仮設店舗を設営しての事業展開も考えられるが、町長の考えと検討状況は?

A 用地の問題等もあり出来るだけ早く、J・R、観光協会、商工会、駅前商店会、バス・タクシース会社、住民の方を含めた関係者に参加していただき、官民一体となった協議会を設置して検討していく。



村田 知章 議員

災害時の水の確保のためにも井戸の整備を！

「井戸の整備について」

Q 大震災の際に、井戸が活躍した。飲用水用だけではなく、生活用水として活用できる。大震災に備えて井戸を整備する自治体もある。また、個人の井戸を「災害時協力井戸」として協力していただき、登録標識を備えている自治体もある。

真鶴町として災害時の井戸の活用は？

A 災害時協力井戸については、真鶴町地域防災計画の中で検討すると規定している。井戸所有者のご協力を得られるように事務執行に努める。

Q どのような検討をしたのか？

A これから災害時協力井戸の認定の着手を検討していきたい。

Q 防災計画の中に、一日一人当たりの給水目標がある。現状は？

A ペットボトルで1900リットルと緊急遮断弁付きの配水池が正常に働けば4300トン。

Q 飲料用は一日分にも満たない。足りないのでは？

A 給水支援は三日間を考えている。

Q 憩いの場としての井戸の復活は？

A 井戸を利用した憩いの場の形成は、個人所有地や地下水保全のことなどから、難しいものと考ええる。



まちなかの井戸

南足柄市に学ぶ、特別徴収のしおり

「各種申請書類のダウンロードについて」

Q 南足柄市では平成23年度より「特別徴収のしおり」の発送を見直

し、市のホームページから申請書類をダウンロードしていただくシステムに切り替えた。しおり製作費と郵送料金を抑えることができた。

特別徴収のしおりとは、事業所に働きに出ている方の町県民税を徴収するために、町から事業者に送る申請書類をまとめた冊子で、20ページほどの冊子になっている。利用者である事業者も、手書きではなくパソコン入力

で記入できるなどメリツトがあり評判は良いという話だ。またほとんどの事業者は問題なく対応しているという話である。

真鶴町として導入した場合、年間26万4150円の経費削減が期待できる。導入は？

A 提案のとおり、しおりの作成、郵送にかかる経費の軽減と利用者の利便性の向上に役立つことが期待できるので、切り替えを行う。

平成26年度はしおりの廃止を事業者に予告し、並行して切り替えていく。

一般質問



黒岩 範子 議員

真鶴町まちづくり条例の一部改正(案)について

「建築物の用途制限の緩和」敷地面積の最小限の制限緩和」の内容でまちづくり条例の一部改正が提案されたが、真鶴町の財産であり、町民・行政・議会が一体となつて守り育ててきた条例を継承発展させる立場から反対だ。

広報を通じての町民からの意見集約の結果はどうなつたか？

A 町民から7件の意見があり、いずれも改正には反対で、審議会に内容を報告し検討した後、ホームページに発表する。苦情や審議会への相談などはない。

景気倍増計画のみならず、すべての計画や施策において、まちづくり条例は政策の考え方の根幹としていく。

条例制定から20年経ち美しい町を維持しているものの町に活気がないのエリア別に戦略的土地利用方針を打ち出した。

見直しまでいかないが、一度おさらいすべきだという意見もきており、諮問機関に凶る必要があると思う。

「まちづくり条例が出たとき大きな町民の運動があり、町は町民アンケート、10カ所で開催などを実施し3千の意見が寄せられた。一部でも見直すならこの位のことをすべきだ。行政財産を普通財産化した建物は今後どのようにしていくのか？」

A 現在、普通財産化された建物にはどんなものがあり、今後予定している施設はあるか？

修繕費の負担はどうなるか？

売却するときはどんな場合か？

A 現在、普通財産化された建物は、岩ふれあい館、旧保健センター、貴船神社前旧レストハウス(飲食店貸付)、地域作業所ひまわり(無償貸付)の四施設で、ケーブル真鶴や魚座も今後検討していく。

修繕費は基本的に町が負担するが、小さな修繕は利用者が負担、又は、貸付契約時に取り決める。貸し付けてあっても公共施設なので防災時の避難場所となる。

売却する場合は町として活用する計画が無くなったときで、使用していれば売却はありえない。

駅前観光客のための手荷物一時預かり所や喫茶スペース設置を真鶴駅の利用状況から大型のコインロッカーを置くことは難しい。今後、駅前再開発に関する協議を設置する中で手荷物一時預かり所やお茶を飲める場所も含め検討していきたい。

真鶴駅の利用状況から大型のコインロッカーを置くことは難しい。今後、駅前再開発に関する協議を設置する中で手荷物一時預かり所やお茶を飲める場所も含め検討していきたい。

真鶴駅の利用状況から大型のコインロッカーを置くことは難しい。今後、駅前再開発に関する協議を設置する中で手荷物一時預かり所やお茶を飲める場所も含め検討していきたい。

真鶴駅の利用状況から大型のコインロッカーを置くことは難しい。今後、駅前再開発に関する協議を設置する中で手荷物一時預かり所やお茶を飲める場所も含め検討していきたい。



二見 和幸 議員

「軽トラ市」で観光の活性化！

「軽トラ市」開催について

Q 軽トラ市とは、地元産の野菜、果物、魚

など、生産品を軽トララックに載せて、店舗として広場や道路などで開催でき移動も簡単にできる市場のこと。町長は数ある祭りを統合して開催し人を呼べる祭りを行っている。開催時は一時的には良いが、昔と比べると土曜日・日曜日の町中も閑散として賑わいが感じられない。そこで町が主体となり、軽トラ市を開催し継続的に「真鶴はいつも何かやつてるよ、行ってみようよ」と世間の人に言われるようにし、また町の商店街の皆様も繁栄していくように賑わいを取り戻し、町主導で道

を作り先導していくべきだと考える。商店主や一般町民にも参加して頂き、地元産の食品や生産品・加工品など町の方々が作っている、さまざまな物を直販し真鶴をアピールして元気を取り戻そう。また、この事業が成功したならば観光協会・商工会に移行し継続して頂こう。行政主導で行ってみてはどうか？

A 軽トラ市で、イベントが行われない普段の土日に朝市等を行うことは、町の活性化に有効だと考える。昨年開催した豊漁豊作祭で豊漁豊作市は、今後朝市等を定期的に開催していくための仕組み作りとして開催したものだ。また、旧梅原水産跡の（仮称）真鶴産業活性化センターを拠点とし、朝市を定期的に開催していく計画がある。その朝市が軌道に乗り、出店希望者が増えれば広い広場で朝市を発展させていきたい。朝市を開催させていく中で、軽トラでの参加も考え慎重に検討していく。

Q （仮称）真鶴産業活性化センターはいつオープンを考えているのか？

A 平成26年12月までにはオープンしたい。

Q それでは9カ月先には悲鳴を上げている。工事など準備期間があるのとは分るが、先に軽トラ市の開催をして活性化センターを成功に導くための布石として早急に考えてもらいたい。この動く店舗でフットワークの良い「軽トラ市」を実現してもらいたい。出来ない理由を探すのではなく出来る理由を考えてもらいたい。

A もちろん出来る理由はある。真鶴半島に止まらず、岩漁港周辺や山間部についても、その特性や資源を活かしたエリアを設定し、真鶴駅・真鶴港周辺と合わせた三地域を「活性化エリア」として、お林地域の「自然保護エリア」と合わせて、それぞれの特性に合わせた支援策を集中投下し、

一般質問

一般質問



田中 俊一 議員

Q 活性化を図る上で、町全域として、どの

ような戦略的土地利用方針を固めているのか？

A 戦略的土地利用方針を、景気倍増計画の核となる実践戦略と位置付け、施策を実施していくことを宣言した。

これは、真鶴半島に止まらず、岩漁港周辺や山間部についても、その特性や資源を活かしたエリアを設定し、真鶴駅・真鶴港周辺と合わせた三地域を「活性化エリア」として、お林地域の「自然保護エリア」と合わせて、それぞれの特性に合わせた支援策を集中投下し、

各エリアを結びつけることで景気倍増を図るものだ。その第一弾が、真鶴港における（仮称）真鶴産業活性化センターであり、活性化エリアの核事業として整備し、真鶴ならではの生活や暮らしの知恵を味わう本物志向時代の観光を確立していく。また、この施設を、周辺商店街や水産物販売店と連動した常設型朝市の開催、チャレンジショップを基点とした新商品開発や創業の誘発などにより、波及効果を生み出す施設とすることで、真鶴港周辺エリアの活性化を図っていく。

活性化センターの整備にあたっては、戦略的土地利用方針に基づく事業として補助金を獲得しており、本方針の意義を最大限発揮することにより、支援を調達し、今後も活性化に取り組んでいく。

Q 町のステータスシンボルである自然保護エリアを前面に打ち出し

た支援策の調達をどの様に達成し、町の振興を図っていくのか？

A 自然保護エリアにおける町の意志とは、生物多様性の尊重であり、徹底した自然保護から生まれる豊かさの追求だ。環境が経済資源の評価となる成熟社会時代において、社会貢献を志す企業は、その実践の場を捜し求めており、自然保護を打ち出した支援策の調達とは、その様な企業との連携を意味する。

お林は、魚付き保安林という漁業資源にも繋がる特性を有しており、例えば、松くい虫対策や植樹といった森林保護に対し、自然保護を経営価値とする企業からサービスや資金を調達し、これまでに保全にかかっていた経費を漁業振興等に活用するなどにより、新しい行財政運営の取り組みを通して、生物多様性の聖地として、人と豊かさが集まるお林の実現に取り組んでいく。

お林は、魚付き保安林という漁業資源にも繋がる特性を有しており、例えば、松くい虫対策や植樹といった森林保護に対し、自然保護を経営価値とする企業からサービスや資金を調達し、これまでに保全にかかっていた経費を漁業振興等に活用するなどにより、新しい行財政運営の取り組みを通して、生物多様性の聖地として、人と豊かさが集まるお林の実現に取り組んでいく。



板垣由美子
議員

もったいないの心で！

「小型家電リサイクル法への取り組みについて」

Q 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律が、平成25年4月1日施行された。自治体が今まで家庭ごみとして廃棄処分していた使用済みの携帯電話やゲーム機、デジタルカメラ、電話機など、ほぼすべての小型家電を回収し、その中に含まれる貴金属や希少金属の回収を進め、資源として再利用する制度で循環型社会の形成をさらに進めるものだ。

A 現在、小型電子機器等については、不燃ごみの日に回収し、粗大

ごみ処理施設で破砕し、可燃物、不燃物に分けレアメタル等は他の金属と一緒に売却している。

今後も衛生組合、湯河原町、真鶴町の三者で検討していく。

早期発見・早期対応が大切です！

「支えあい分かち合う地域社会へ、認知症の正しい理解と予防対策について」

Q 高齢化に伴う認知症患者の急増が予測され、当町でも、今後、認知症を発症する人が多くなると推計される。万一、発症しても出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指すには、認知症の正しい理解と予防対策が大切だと思われる。

A 当町の高齢化率は35%を越え、認知症は今後ますます身近な疾患

になる。

認知症は85歳以上で4人に一人が発症する可能性があり、偏見を無くし疾患を正しく理解することが重要だ。

第6期介護保険事業計画に認知症に対する取り組みを盛り込んでいく。

認知症サポーター数は112名、平成25年度については真鶴中学校3年生が受講した。

予防対策はお達者教室を開催。3年間をかけ65歳以上で介護保険を受けていない全員に基本チェックリストによる二次予防対策把握事業を実施。結果を介護予防事業の各教室に繋いでいる。町長による成年後見申立てはこれまで5件行った。医療との連携は「よりよいノート」を活用している。

Q 軽度の認知症の早期発見について、パソコンを使って判定する方法もあるが？

A 検討していく。

一般質問



岩本 克美
議員

わが町の防災「危機管理体制の現状と課題」

Q 東日本大震災から3年、この間、国は救急応援体制や復旧復興対策、各種支援体制など、

A 「危機管理」体制の機能については、総務課に防災係を設置、関係する部門と協力して対応している。自主防災組織については、自治会連合会の防災部会に育成を働きかけている。他市町のように単独で防災訓練等を行える組織になってほしい。災害や防災に対する知識習得のため、講

演会等を諸機関の協力を得ながら実行し、レベルアップを目指すべく検討している。次年度以降の課題としては、食糧備蓄・要支援者名簿の作成、利用制度の義務化・指定緊急避難場所について地域防災計画を見直し、被災者の心身の健康確保、被災者からの相談を追加することなどが義務化されている。

た訓練を呼びかけた。

町は、町民の生命財産を守るという使命に対して傍観者になっていないか。

A 自治会連合会防災部会とは定例的に話し合っており、地域ごとの訓練等が出来るかと期待している。

Q 昨年の臨時国会で「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が可決成立した。

目的は、消防団を中核とした地域防災力の強化、住民の安全確保、地域における防災体制の強化を規定しているが町はどう対応をするか。

A 減災対策が大事だということを充分認識している。震災の映像を住民に見てもらい、災害の恐ろしさを知ってもらうことも減災対策になると思う。教育の観点からも町民全体の意識向上につながるよう努力する。

Q 『安全・安心』への取り組みで大切なのは災害発生前の減災対策だ。海岸地域なら海抜20m地点まで10分以内で逃げる等、日常的に出来る訓練を、地域単位で行ってもらっているだろうか。

A 昨年夏、津波避難訓練を行ったが、地域に即した訓練として取り組みたい。海抜表示避難所案内の道路標示も完成したので、これを生かし

トピックス



議会運営委員会

議会運営委員会では、真鶴町議会基本条例第23条の規定に基づき、この条例の目的が達成されているかの検討作業を進めており、これまでに委員会を5回開催し、「真鶴町議会と町民との意見交換会実施要綱」、「真鶴町議会報告会実施要綱」を策定しました。引き続き、1カ月に2回のペースで委員会を開催し、「真鶴町議会議員研修実施要綱」の策定、「真鶴町議会防災危機管理要綱」の見直しを進めていく予定です。

また、昨年より議員定数が1名減となったことに伴う委員会構成の見直しや、議会のIT化の促進などについて検討していく予定で、作業の進捗については、随時議会だよりにてお知らせしてまいります。

議会運営委員会
委員長 板垣 由美子

真鶴町自治会連合会と 真鶴町議会議員との懇談会開催

平成26年2月13日(木) 19時30分より、真鶴町民センター講義室において、真鶴町自治会連合会と真鶴町議会議員との懇談会が開催されました。

この懇談会は例年開催されているもので、各自治会の会長・副会長と全町議会議員が出席し、自治連合会長、町議会議長の挨拶、出席者の自己紹介に引き続き、自治会連合会からの質問に議会側が回答する形で進められました。

質問は、コミュニティ真鶴の閉館、各議員の自治会加入状況、町の活性化、町財政、各議員の選挙公約、公共交通網の整備維持など多岐にわたり、予定の1時間をオーバーし、熱心な議論が交わされました。

現在、議会では、議会運営委員会を中心に、真鶴町議会基本条例の見直しをはじめ、議会報告会および意見交換会実施要綱の策定などに取り組んでおり、町民の皆様とのより良い関係構築に努めてまいります。

議会広報特別委員会から お知らせ

お知らせ

新年度より「議会だより」をリニューアルしました。

先ず、発行日を15日から1日に変更し、これまでよりも2週間早く、議会の様子を皆様にお伝えします。

また、「広報真鶴」同様、表紙をフルカラーから2色刷りにすることで、経費の削減を行いました。

これからも議会活動を皆様に分かりやすくお伝えするよう努めてまいります。

議会広報特別委員会
委員長 村田 知章

編集後記

桜から若葉に季節が移り、額の汗を拭いながら歩かれる観光客の姿を見かけるようになりました。

神奈川県は、県西地域を「未病を治す」地域と位置付け、「未病を治し、住む人も訪れる人も健康長寿」を目標に、今年3月から活性化プロジェクトをスタートさせました。

真鶴には、海・山・緑・食といった、多くの自然の恵みがあり、その恵みに育まれた健康長寿を、真鶴を訪れてくださる方々にプレゼントすることが、町の活性化につながっていきます。

3月定例会でも、産業観光振興に関する新たな取り組みについて審議が行われました。

議会だよりでは、紙面の都合もあり、残念ながら全てをお伝えすることができません。

時に熱のこもった議論が交わされる議会の傍聴にぜひおいでください。

議会広報特別委員会
委員 高橋 敦

議会広報特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 村田 知章 |
| 副委員長 | 光 吉 浩 |
| 委員 | 田 中 俊 一 |
| | 黒 岩 範 敦 |
| | 高 橋 克 美 |
| | 岩 本 克 美 |

表紙の写真の投稿をお待ちしております。



議会の傍聴してみませんか



次の議会は 定例会6月12日(木)、6月13日(金)の予定です。
真鶴地域情報センターでも議会中継をしています。